



外国出張報告書

平成 27 年 7 月 24 日

1. 出張国名 ブルキナファソ
2. 出張月 平成 27 年 7 月
3. 出張目的 地理情報解析による土壌保全重要度評価の整合性の検証：A

4. 成果の概要

西アフリカに位置するブルキナファソ国では、農業生産のための水および土壌資源が脆弱であり、それらの維持のための保全農業の効果的な導入が求められている。出張者はこれまで、各種地理情報を用い、保全農業導入に対して参照すべき土壌侵食危険度や土地利用の地図化を行ってきたが、それらが現地の状況を的確に反映しているかの調査を行った。ブルキナファソ中部から南西部にかけての地域を調査し、地図化した土地利用データと比較した結果、耕作域が十分に判別できていない場合があることが判明した。こうしたケースの土地利用景観を観察・整理し、判別技術の改良について検討した。